



三中だより

令和8年(2026年)8月25日
豊中市立第三中学校
第2号

豊中市立第三中学校 保護者の皆さまへ

～子どもをネットトラブルから守るために～

1.情報モラル教育はどうして必要なのか

中学生にとって、スマートフォンやタブレットは学習やコミュニケーションに欠かせないツールとなっています。一方で、使い方を誤るとさまざまなトラブルに巻き込まれる危険があります。

主なトラブル

- ・ SNS での誹謗中傷やいじめ
- ・ 個人情報の流出
- ・ ネット依存
- ・ フィッシング詐欺や課金トラブル
- ・ 不適切な画像・動画の拡散
- ・ オンラインゲームでのトラブル

2.家庭で大切にしたい3つのポイント

①「ネット上にも相手がいる」ことを意識する

画面の向こうには感情を持った人がいます。

子どもに次のような問いかけをしましょう。

- ・ その言葉を直接相手に言えますか？
- ・ 相手はどう感じるでしょうか？
- ・ 一度送った情報は消せるでしょうか？

② 個人情報を守る

次の情報は安易に公開しないようにしましょう。

- ・ 名前
- ・ 学校名
- ・ 住所
- ・ 電話番号
- ・ 顔写真
- ・ 現在地が分かる情報

写真の背景から住所や学校が特定されることもあります。

③ 利用時間のルールを決める

ネット依存を防ぐために家庭でルールを作りましょう。

例

- ・ 夜 10 時以降は使用しない
- ・ 食事中はスマホを使わない
- ・ 勉強中は通知をオフにする
- ・ 寝室にスマホを持ち込まない

3.SNS 利用で気をつけたいこと

投稿前の「3 秒チェック」

1. 個人情報に含まれていないか
2. 誰かを傷つける内容ではないか
3. 世界中に公開されても問題ないか

一度拡散された情報は完全に削除できない場合があります。

4.保護者にできること

見守る

- ・ 使用アプリを一緒に確認する
- ・ 友達関係や利用状況に関心を持つ

話を聞く

- ・ 頭ごなしに叱らない
- ・ 困った時に相談できる関係を作る

一緒に学ぶ

- ・ 最新の SNS やネットサービスについて親も学ぶ
- ・ 家庭のルールを定期的に見直す

5.トラブルが起きたら

- ・ まずは証拠（画面保存など）を残す
- ・ 一人で解決しようとしな
- ・ 学校や関係機関に相談する
- ・ 悪質な場合は警察へ相談する

情報モラル教育で最も大切なのは、「禁止すること」ではなく、「正しく使う力を育てること」です。子どもたちはこれからデジタル社会の中で生きていきます。家庭と学校が協力しながら、子どもたちが安全に、そして責任をもって ICT を活用できる力を育てていきましょう。